

チーム戦での
真剣勝負！

老人クラブ主催

尾島支部輪投げ大会

5年後、10年後に向けて「住みやすい。住んでいてよかった。」と思える人と人との「つながりのある地域」をめざし「地域のお宝」としてご紹介していきます。

優勝チームは
太田大会へ出場！



9月26日（木）、尾島生涯学習センターで尾島支部老人クラブ主催の輪投げ大会が行われました。基本的に5人で1チームとし、1丁目（A～B）、押切（A～B）、南ヶ丘（A～C）、前島、二ツ小屋の5地区・9チームに分かれて、1人9本ずつの輪を投げ、2回の合計得点を競います。参加者は49名。在住地区に老人会がない方は、近隣の地区に混ざって出場しました。

2回目が終了した後は、合計得点の上位3チームによる決勝戦が行われ、1丁目Bチームが優勝しました。優勝した1丁目Bチームは、10月22日（火）エアリスホールで行われる太田市老人クラブ連合会輪投げ大会に尾島地区の代表として出場しました。

～参加した皆さんにお話を伺いました～

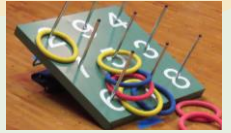
1丁目Bチームの皆さん



順位	チーム名	1回2回合計点
1	前島	78 / 62
	南ヶ丘A	47 / 38
	神切A	7 / 6
2	1丁目B	37 / 46
	南ヶ丘B	7 / 12
	ニツ小屋	13 / 10
3	南ヶ丘C	17 / 16
	神切B	30 / 27
	1丁目B	21 / 17

54点!

予選2回の合計点が80点、決勝では54点と高得点で優勝しました。なかでもキャプテンの松村さん(写真左)は9の枠に合計3回輪を入れるなど、優勝に貢献しました。松村さん曰く、勝因はチームワーク良く安定して点数を重ねられたこと。太田の大会へは、この4名に補欠3名を加えて、7人で参加予定です。



ニツ小屋チームの皆さん

老人クラブ尾島支部 支部長 神戸雄二さん

輪投げは高齢の方でも参加しやすく、毎年多くの方が参加しています。老人クラブでは他にも、スカットボールやゲートボール、モルックなど様々なゲームを主催し、外に出るきっかけ作りに取り組み、交流の場となっています。



檜原さん(前列左)は下新田在住のため、ニツ小屋チームに混ざって参加しました。

「輪投げは高得点を狙うのが難しいけれど、みんなと会えて談笑できるのが良い。認知症予防にもなる」と皆さん輪投げ大会についてお話しくださいました。

1丁目Aチームの皆さん



決勝に進出し、3位となりました。一丁目は、長寿会(老人会)役員を中心に、公園の草むしりをしたり、かんなの湯へ日帰り旅行に行ったりと結束力が強いそうです。「集まる機会が多いと情報交換ができるし、みんなでお茶飲みをするのが楽しい。また、欠席者には、電話をしたり、帰りに立ち寄ってみたいと安否確認にもなっている」とお話しくださいました。

チェックポイント

輪投げは、激しい動きではないため高齢の方でも参加しやすく、一方で高得点を狙うのは難しい等ゲーム性もあるため、多くの方が楽しめる競技です。また、チーム戦によって積極的なコミュニケーションや多くの交流が生まれ、地域の結束力がより一層高まっていました。



Instagramはこちら!